

# 個の尊厳が貫かれている社会

## 心に強く残っていること

レポート：山口和男

### ★はじめに

私にとって最も強い印象として残っていることは「個の尊厳が貫かれている社会」が存在していることでした。いくつもの現場を視察させていただき、そこで生活する利用者や職員の表情を通して何よりもそのことを実感することができました。デンマークのような福祉国家の実態を知ったことで、『これからの人生をどう生きていくのか』という問いに、大きな展望を与えていただいたように思います。

### ★個の尊厳で強い印象に残った2つの事例

\*1つは、高齢者ケア南地区センター・アスタースパイで認知症ケアの方策としておこなっているマーサメオ方式。認知症の方とヘルパーとのトラブルを改善するために、4週間かけて7～8分のビデオに撮り、7場面にまとめ、それを集団で検討し、利用者とヘルパーとの関係を直していく。動画でこの様子が映されたことで強い印象となりました。

ここでは、どこが良いかに注目し、笑顔や目を見て話す利用者、心が開き、受け入れるようになること。静かに語りかけることで相手が落ち着き、通じ合えること。手を握り、動作に言葉を付けてあげること。“よくわかるよ、あなたが大変なのは…”。ネガティブなことは言わず、ポジティブなことをいうこと。そして待つ。認知症の方に、どのように接すれば理解されるようになるのか、ここまで個の尊厳が追求されていることに驚きました。

\*2つめは、障がい者センターで画家コリアさんが絵を画いているところ。頭の先に絵筆をセットして、頭を動かして絵をかく。

スタッフが手足となってそれをささえ、コリアさんが才能を発揮されています。そのためにスタッフだけでなく、十分なスペースや道具もしつらえてあります。この時のことを私のメモ帳には「こんなにも一人ひとりを大切にしている社会があるのか～」と書いてありました。

### ★デンマークの民主主義

今回の視察でいただいた資料の中でデンマークにおける民主主義についての考え方が示されています。澤渡夏代さんの「平等意識をはぐくむデンマークの保育・子育て」の中で、次のような指摘があります。

「デンマークでは、今から157年前に絶対王政が廃止され民主制度が導入された長い歴史があり、民主主義の理念は世界のどの国よりも深く太く根を張っている国といえます。」——この言葉は日本の現状を考えた時に実に重い響きを感じます。

さらに「この成熟した民主主義は『権力・管理・競争』から得られるものはない、とし『平等・対話そして個の尊重』を重視しています。」そして「“威厳”とか“権威”はデンマーク人にとって相互理解の一番の弊害だとされています。」今回の研修で民主主義をこのようにとらえていることも私の心に強く残ったことです。

日本国憲法が制定されて70年。民主主義が未成熟な日本で、民主主義の確立へさらに不断の努力が求められている時、豊かなデンマークをイメージして活動することができるようになった今回の研修は私にとってかけがえのない宝となりました。